

水彩画で綴る奈良の風景

奈良県は地域により、その風景も多彩です。北は大淵池などの新興住宅地、奈良時代から続く東大寺、中部を代表する吉野の山村の暮らし、南は古き良き日本の生活が残る熊野参詣道「小辺路(こへち)」。奈良を代表する風景を水彩画で描いてみました。



大淵池の早春



東大寺の晩秋



吉野の春



小辺路の春

作者紹介

佐藤和夫 みずほ会会員

2010 初の個展 at 軽井沢Ray coffee house

2011 杉本亜矢子さんと二人展 at 軽井沢Ray coffee house

ホームページ→「佐藤和夫 水彩画」で検索